

参考にした調査孔のボーリング柱状図  
及びボーリングコア写真  
(平成25年調査報告書及び平成30年調査報告書より)

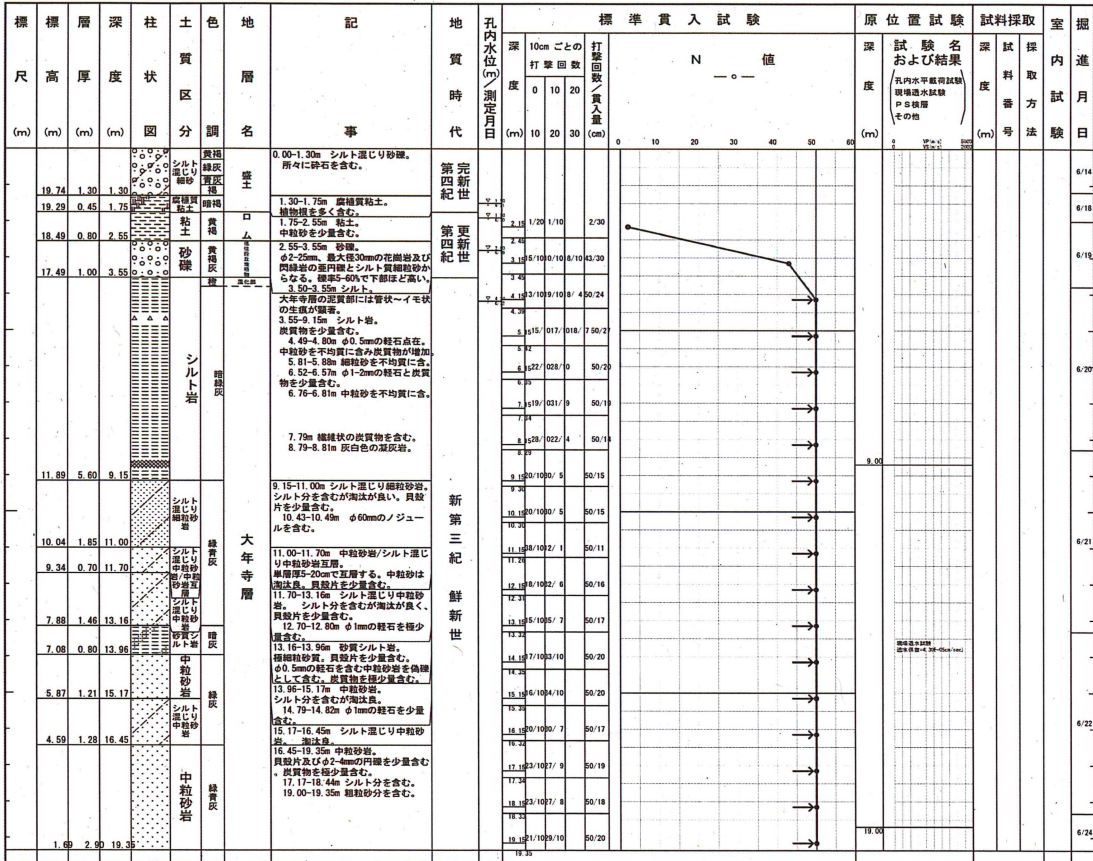
ボーリング柱状図

(1/1)

調査名 平成24年度中間貯蔵施設等の設置検討に関する地質・地下水総合解析業務

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ボーリング名	④-9		調査位置	福島県大熊町		X座標	156816.974	
発注機関	環境省 中間貯蔵施設チーム		調査期間	2013年6月14日～2013年6月24日		Y座標	105651.544	
調査業者名	[ ]		主任技師	[ ]		現代理人	[ ]	
孔口標高	21.04 m	角	[ ]		地盤勾配	[ ]		
総掘削長	19.35 m	度	[ ]		使用機種	[ ]		
試験機	KOKEN OP-1		ハンマー	落下用具		半自動型		
エンジン	ヤンマー-NFD-13		ポンプ	MG-5				





ボーリング柱状図

(1/1)

調査名 平成24年度中間貯蔵施設等の設置検討に関する地質・地下水総合解析業務

ボーリングNo.	
----------	--

ボーリング名	④-10	調査位置	福島県大熊町	X座標	156583.688
発注機関	環境省 中間貯蔵施設チーム	調査期間	2013年6月11日～2013年6月28日	Y座標	105579.153
調査業者名		主任技師		ボーリング責任者	
孔口標高	23.57 m	角	90°	試験機	TEC-1
総掘削長	20.40 m	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	エンジン	NFD-13
		地盤勾配		ハンマー落下用具	半自動型
		水平		ポンプ	NP-40

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	地層名	地質記号	地質時代	標準貫入試験						原位置試験	試料採取	掘進月日
								深 (m)	10cm 以上の打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値					
21.17	2.40	2.40		沖積層	沖積層		第四紀									
18.92	2.25	4.65		砂礫	砂礫		第四紀									
15.77	3.15	7.80		シルト岩	シルト岩		第三紀									
15.17	0.60	8.40		シルト岩	シルト岩		第三紀									
12.55	2.82	11.22		シルト岩	シルト岩		第三紀									
11.92	0.43	11.65		シルト岩	シルト岩		第三紀									
11.35	0.57	12.22		シルト岩	シルト岩		第三紀									
3.17	8.18	20.40		砂質シルト岩	砂質シルト岩		第三紀									



ボーリング柱状図

(1/1)

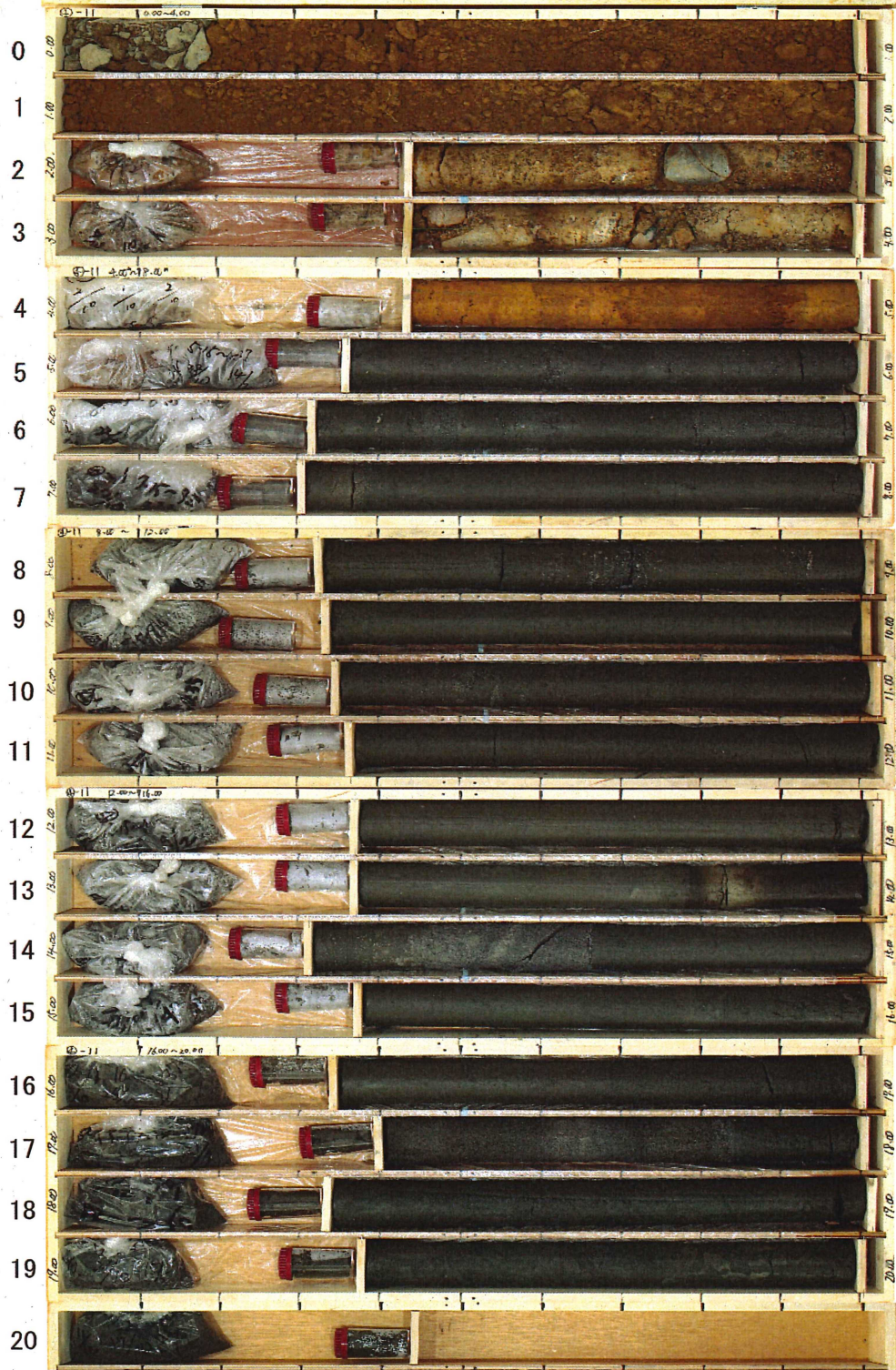
調査名 平成24年度中間貯蔵施設等の設置検討に関する地質・地下水総合解析業務

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ボーリング名	④-11			調査位置	福島県大熊町			X座標	156392.494	
発注機関	環境省 中間貯蔵施設設チーム			調査期間	2013年5月27日～2013年6月7日			Y座標	105466.093	
調査業者名	[Redacted]			主任技師	[Redacted]			現代理人	[Redacted]	
孔口標高	33.33	角	90°	方	北	地盤勾配	水平	試験機	TEC-1	
総掘削長	20.44	度	0°	向	東	約	0.0°	エンジン	NFD-13	
								ハンマー落下用具	半自動型	
								ポンプ	NP-40	

標尺	層高	層厚	層深	柱状図	土質区分	地層名	地質記号	地質時代	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験
									深	打撃回数	N値	度			
33.13	0.20	0.20	0.20	[Pattern]	シルト質粘土	ローム	0.00-0.20m 砂石、シルト質粘土。中粒砂を含む。少量の塊状物を含む。	第四紀更新世	0	0	0	0			
31.63	1.50	1.70	1.70	[Pattern]	砂質粘土	ローム	1.70-2.22m 砂質粘土。中粒砂質。細粒を少量含む。	第四紀更新世	2.4	1/28	1/16	2/30			
31.11	0.52	2.22	2.22	[Pattern]	シルト質粘土	ローム	2.22-2.77m シルト質粘土。中粒砂、φ0.5-1mmの塊状物を含む。	第四紀更新世	3.1	7/100	10/10	10/27/30			
30.58	0.55	2.77	2.77	[Pattern]	砂質粘土	ローム	2.77-4.30m 砂質粘土。φ0.5-8mmの塊状物と高円度の極細粒砂。塊状物の程度、最大径10cm。塊状物は花崗岩、珪長岩からなる。	第四紀更新世	2.4	1/12	1/14	2/10	5/30		
29.03	1.53	4.30	4.30	[Pattern]	シルト質粘土	ローム	大年寺層の泥質部には管状～イモ状の虫食が顕著。砂質シルト質。塊状物と珪長岩を少量含む。塊状物は珪長岩。珪長岩は不規則な形状で鉄む。少量の塊状物を含む。	第四紀更新世	4.6	3/108	10/4	2/50/22			
28.08	0.95	5.25	5.25	[Pattern]	シルト質粘土	ローム	5.25-6.63m 砂質シルト質。塊状物と珪長岩を少量含む。塊状物は珪長岩。珪長岩は不規則な形状で鉄む。少量の塊状物を含む。	第四紀更新世	5.1	1/27	1/23	6	50/18		
26.70	1.38	6.63	6.63	[Pattern]	シルト質粘土	ローム	6.63-7.70m シルト質粘土。φ0.5-1mmの軽石と珪長岩を少量含む。	第四紀更新世	6.3	1/27	1/23	6	50/16		
				[Pattern]	シルト質粘土	ローム	7.70-7.90m 上方細粒化する中粒砂質を挟む。	第四紀更新世	7.3	1/17	1/13	6	50/15		
				[Pattern]	シルト質粘土	ローム	7.90-7.95m φ0.5-1mmの軽石と珪長岩を挟む。	第四紀更新世	8.2	3/18	6/105	6	50/19		
				[Pattern]	シルト質粘土	ローム	7.95-7.98m φ0.5-1mmの軽石と珪長岩を挟む。	第四紀更新世	9.3	5/105	10	6	50/20		
				[Pattern]	シルト質粘土	ローム	7.98-8.00m φ0.5-1mmの軽石と珪長岩を挟む。	第四紀更新世	10.2	1/10	1/10	10	5/50/25		
				[Pattern]	シルト質粘土	ローム	8.00-8.05m φ0.5-1mmの軽石と珪長岩を挟む。	第四紀更新世	11.4	6/106	10	9	2/50/22		
				[Pattern]	シルト質粘土	ローム	8.05-8.10m φ0.5-1mmの軽石と珪長岩を挟む。	第四紀更新世	12.3	5/104	10	11	3/50/23		
19.54	7.16	13.79	13.79	[Pattern]	シルト質粘土	ローム	13.79-14.16m 珪長岩シルト質。塊状物と珪長岩を少量含む。	第四紀更新世	13.2	2/105	10	2	4/50/24		
18.17	0.37	14.16	14.16	[Pattern]	シルト質粘土	ローム	14.16-14.22m 珪長岩シルト質。塊状物と珪長岩を少量含む。	第四紀更新世	14.1	1/10	1/10	10	5/50/22		
				[Pattern]	シルト質粘土	ローム	14.22-14.45m φ0.5-2mmの軽石を含む。塊状物と珪長岩を少量含む。	第四紀更新世	16.3	3/10	6/102/17	7/50/27			
16.67	2.50	16.66	16.66	[Pattern]	シルト質粘土	ローム	16.66-17.21m 珪長岩シルト質。塊状物と珪長岩を少量含む。	第四紀更新世	17.4	7/102	6	6	50/19		
16.12	0.55	17.21	17.21	[Pattern]	シルト質粘土	ローム	17.21-17.64m 珪長岩シルト質。塊状物と珪長岩を少量含む。	第四紀更新世	18.3	4/101	10	5	5/50/25		
15.49	0.63	17.84	17.84	[Pattern]	シルト質粘土	ローム	17.64-17.84m φ0.5-1mmの軽石と珪長岩を少量含む。	第四紀更新世	19.4	1/10	1/10	10	2/50/22		
12.89	2.60	20.44	20.44	[Pattern]	シルト質粘土	ローム	19.87-20.44m 珪長岩シルト質。塊状物と珪長岩を少量含む。	第四紀更新世	20.4						

件名	平成24年度中間貯蔵施設等の設置検討に関する地質・地下水総合解析業務		
孔番	④-11	深度	0.00 m ~ 20.44 m
	社名		



# ボーリング柱状図

調 査 名

ボーリングNo.

事業・工事名 平成30年度 中間貯蔵(大熊5工区)土壌貯蔵施設等工事

シートNo.

ボーリング名	2018-42-07(受-1)	調査位置	福島県双葉郡大熊町地内	北緯	37° 24' 4.37"
発注機関	東北地方環境事務所 福島環境再生事務所	調査期間	平成30年7月10日 ~ 30年7月11日	東経	141° 1' 45.39"
調査業者名	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	+29.81m	角	北 0° 東 90° 西 270° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°
総掘進長	10.37m	使用機種	試錐機 YBM-05型 エンジン ヤンマー製NFD12	ハンマー落下用具	半自動型
				ポンプ	MG-5

標尺 (m)	層高 (m)	厚度 (m)	柱状図	土質区分	色相対調密度	記 事	標準貫入試験				原位置試験 深 度 (m)	試験名 および結果	採取 番号	室内試験 方法	掘進 月 日
							深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	20cmごとの 打撃回数	30cmごとの 打撃回数					
29.51	0.30	0.30		表土	黒褐色	腐植層上、砂質シルト~粘土からなる。草茎、草根混入する。シルト質粘土~砂質粘土からなる。軟らかい。	1.15	1	1	3					
28.86	0.85	1.15		シルト質粘土	茶褐色	中程度に締まった砂礫からなる。基質は粘土混じり砂~粘土質砂。φ5~10mm程度~龍門巻含む。最大φ100mm。礫は硬質。	2.15	6	4	13					
25.81	2.85	1.00		粘土混じり砂礫	茶褐色	海風化により固結の低下した細粒砂礫。掘削にて容易に崩せる粒状の礫り。粒状は細粒砂礫で中粒砂分を含む。	3.15	7	6	10					
23.11	2.70	6.10		黄褐色 / 茶褐色	黄褐色 / 茶褐色	固結したシルト岩。塊状に採取されるが脆く手で容易に折れる。またはワッシャー等で容易に割れる。層状の硬さ。所々細粒砂礫の層状状を認め、	4.15	3	4	6					
19.11	3.97	10.37		シルト岩	暗緑灰色		5.15	5	5	6					
							6.15	1	1	4					
							7.15	11	16	23					
							8.15	12	21	17					
							9.15	13	18	19					
							10.15	20	23	7					
							11.15	2	2	2					
							12.15								
							13.15								
							14.15								
							15.15								
							16.15								



2018-42-07(受-1)コア写真

件名	平成30年度 中間貯蔵(大熊5工区)土壌貯蔵施設等工事		
孔番	2018-42-07(受-1)	深度	0.00 m ~ 10.00 m
		社名	[REDACTED]



# ボーリング柱状図

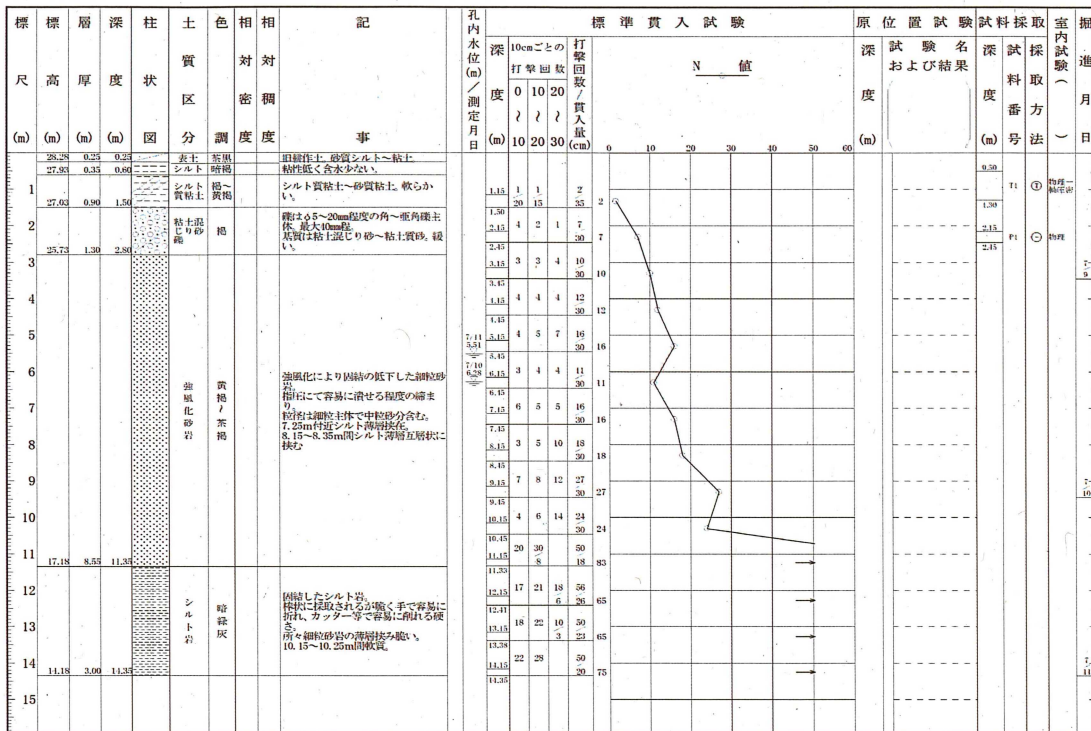
調査名

ボーリングNo

事業・工事名 平成30年度 中間貯蔵(大熊5工区)土壌貯蔵施設等工事

シートNo

ボーリング名	2018-42-08(受-2)	調査位置	福島県双葉郡大熊町地内	北緯	37° 24' 4.57"
発注機関	東北地方環境事務所 福島環境再生事務所	調査期間	平成30年7月9日 ~ 30年7月11日	東経	141° 1' 49.88"
調査業者名	主任技師		現場代理人	コ 鑑 定 者	ボーリング責任者
孔口標高	+28.53m	角	北 0° 上 90° 下 0°	方 向	270° 西 180° 南 90° 東
総掘進長	14.35m	地盤勾配	水平0°	使用機種	エンジン
		試験錐機	YBM-05型	ハンマー落下用具	半自動型
		エンジン	ヤンマー製NFD12	ポンプ	MG-5



件名	平成30年度 中間貯蔵(大熊5工区)土壌貯蔵施設等工事		
孔番	2018-42-08(受-2)	深度	0.00 m ~ 14.00 m
	社名		

0m		1m
1m		2m
2m		3m
3m		4m
4m		5m
5m		6m
6m		7m
7m		8m
8m		9m
9m		10m
10m		11m
11m		12m
12m		13m
13m		14m
14m		15m

# ボーリング柱状図

調 査 名

ボーリングNo.   

事業・工事名 平成30年度 中間貯蔵(大熊5工区)土壌貯蔵施設等工事

シートNo.   

ボーリング名	2018-42-09(受-3)	調査位置	福島県双葉郡大熊町地内	北緯	37° 24' 2.14"
発注機関	東北地方環境事務所 福島環境再生事務所	調査期間	平成30年6月28日 ~ 30年6月29日	東経	141° 1' 47.15"
調査業者名	主任技師 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">  </span>		現代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">  </span>
孔口標高	+29.61m	角	180° 上	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総掘進長	12.37m	度	0°	地盤勾配	水平0°
使用機種	エンジン	試錐機	YBM-05型	ハンマー	落下用具
		ポンプ	ヤンマー製NFD12		MG-5

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色相対調密度	相対稠度	記 事	標準貫入試験				N 値	原位置試験 試験名および結果	試験採取 深 度 (m)	採取方法	室内試験 ( )	掘進 月 日		
								深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	測定月日								
1	29.11	0.50	0.50	表土	黒褐色		草茎、草根混入、軟質。	6.28 4.09	1.13	1	1	2	4	30					
2	27.91	1.20	1.70	凝結しり粘土	茶褐色		不均質。粘性大。所々φ10~3mm程度の塊混入。	1.45	2.13	1	1	15	17	30					
3				粘土混じり砂	褐色		φ5~20mm程度の角~直角塊主体。表質は粘土混じり砂~粘土質砂。緩い。	2.43	3.43	10	15	17	42	30					
4	25.11	2.80	4.50	凝結しり砂	褐色			3.43	4.43	4	4	6	14	30					
5				凝結しり砂	褐色			4.43	5.43	3	3	5	11	30					
6				凝結しり砂	褐色		強度化により固結の低下した細粒砂質粘土にて容易に潰せる程度の締り。粒状は細粒主体で中粒砂分含む。	6.43	7.43	2	3	4	9	30					
7				凝結しり砂	褐色			7.43	8.43	4	4	6	14	30					
8	21.46	3.68	8.15	シルト岩	暗緑灰		ほぼ均質。軟岩。採取時に採取されるが脆く容易に折れる。カッター等簡単に削れる程度の硬さ。8.7~8.75m間、中砂等粘質土存在。	8.43	9.43	11	17	22	50	35					
9				シルト岩	暗緑灰			9.43	10.43	13	15	22	50	37					
10				シルト岩	暗緑灰			10.43	11.43	13	19	18	50	31					
11				シルト岩	暗緑灰			11.43	12.43	16	23	11	50	32					
12	17.24	4.22	12.37	シルト岩	暗緑灰			12.43	12.37										

件名	平成30年度 中間貯蔵(大熊5工区)土壌貯蔵施設等工事		
孔番	2018-42-09(受-3)	深度	0.00 m ~ 12.00 m
	社名		

0m		1m
1m		2m
2m		3m
3m		4m
4m		5m
5m		6m
6m		7m
7m		8m
8m		9m
9m		10m
10m		11m
11m		12m
12m		13m

# ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo

事業・工事名 平成30年度 中間貯蔵(大熊5工区)土壌貯蔵施設等工事

シートNo

ボーリング名	2018-46-01(受-4)	調査位置	福島県双葉郡大熊町地内	北緯	37° 23' 58.75"
発注機関	東北地方環境事務所 福島環境再生事務所	調査期間	平成30年7月2日～30年7月5日	東経	141° 1' 44.62"
調査業者名	主任技師		現代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	30.62m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総掘進長	10.35m	地盤勾配	水平0°	使用機種	エンジン
				試錐機	YBM-05型
				ハンマー	落下用具
				ポンプ	半自動型
				エンジン	ヤンマー製NFD12
					MG-5

標尺 (m)	層高 (m)	厚度 (m)	柱状図	土質区分	色相対調密度	相対密度	記	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試験採取番号	室内試験(方法)	掘進月日	
								深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N値						
30.22	0.40	0.60		表土	黒褐色		砂質シルト～粘土からなる表土。石灰、石膏混入する。	1.15	1	1	2	4	30				
29.12	1.10	1.50		凝結しり粘土	黄褐色		凝結しり粘土～砂質粘土からなる。軟らかく、粘土上。径2～10mmの細礫を混入する。	1.15	1	1	2	4	30				
26.72	2.40	3.90		粘土混じり砂	黄褐色		中程度に締まった砂礫からなる。表層は粘土混じり砂～粘土質砂。径2～10mmの細礫～中礫を含む。礫は硬質。	1.15	12	9	10	31	30				
28.12	0.60	4.50		凝結しり砂	淡褐色		非常に硬く、凝結しり砂。径2～20mmの粗礫を含む。	1.15	6	3	11	20	30				
31.12	2.00	6.50		凝結しり砂	淡褐色		強風化により固結の低下した細粒砂質粘土。指圧にて容易に潰せる程度の硬り。粗粒は細粒主体で、中細砂分を含む。5.0mm以上の粗粒は無く、帯状。	1.15	1	1	1	3	30				
				シルト岩	暗灰色		固結したシルト岩。指圧にて長方形に潰れるが、手で容易に折れる。またはカッターナイフで容易に折れる程度の硬さ。6.7mm付近、細粒砂岩の薄片を挟む。7.5～8.5mm、シルトと細粒砂分の比率がほぼ等しい(砂質シルト岩)。	1.15	13	19	18	50	60				
20.27	3.85	10.35						1.15	15	19	16	59	63				
								1.15	16	19	15	50	56				
								1.15	20	30	30	50	50				
								1.15	20	30	30	50	50				